

入米幹文 （きんぎん） 國學者。文政十一年十月二十日常陸國水戸生れ、明治二十七年十一月十日歿（八二歳一九月）。字ハ八斐文、通稱幸三郎。號桑園。水産、水産主人、水産舎。父ハ水戸藩士仁河幹忠、同藩士入米博慎の養子トなる。平田篤胤、水居内遠等ハ學ビ、徳川齊昭の下ニ國事ハ奔走。慶應元年弘道館訓導、明治五年教部省出任、相模寒川神社等の宮司トシ歷任。七年皇大神宮權禰宜、權少教正。十五年東京大學講師、次ニ第一高等學校教授トナリ國文・國史ヲ講シタ。

著書ハ『大八洲史』（初編・明治二十年二月十五日、三編・二十一年十一月二十日、四編・二十四年六月六日大八洲學會）、編『日本文業』（卷一・明治二十二年九月二十六日、卷二・十一月一日、卷三・十一月二十八日吉川半七刊）、訓評『今昔字治抄』（山田裕子校正、明治二十三年九月八日大八洲學會）、編『松の志』枝（間宮八十子著、明治二十四年四月一日精熙館）、『校訂神皇正統記』（飯田武郷共校、服部元彦補助、明治二十四年五月九日國語傳習所）、『水産集』（明治二十八年十一月十日大八洲館）等。

